

第2学年O組 国語科学習指導案

令和3年〇月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇

1 単 元 4 人間のきずな（字のない葉書）

2 単元の見どころ

- (1) 表現に着目して人柄や心情を読み取り、それを生かして他の随筆を読むことができる。
- (2) 前半部分と後半部分の人柄や心情の描かれ方を比較し、表現の効果について考えることができる。
- (3) 進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとする。

3 学習の計画 (3時間完了)

- 第1時 描写を通して、人物の人柄や心情を捉える。
- 第2時 言動や様子を描いた表現に着目し、登場人物の人柄や心情を捉える。
- 第3時（本時） 父親に対する筆者の思いを読み取り、その思いに対する自分の考えをもつ。

4 本時の学習指導

- (1) 目 標
 - 筆者の父親に対する思いを読み取り、まとめることができる。
 - 筆者の父親への思いを、積極的に自分の言葉で伝えようとする。
- (2) 準備・資料
 - 生徒……補助教材（戦争中の写真等）
 - 教師……戦争に関する資料（補助教材以外の写真等）
- (3) 関 連
 - 1年 国語 心の動き「大人になれなかった弟たちに……」（自分のものの見方や感じ方を見つめ直す）
 - 3年 国語 状況の中で「挨拶—原爆の写真によせて」（作者のものの見方や考え方を捉える）

(4) 学習過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
つかむ	1 本時の学習課題をつかむ。 (1) 前時までの学習を振り返る。 ○ 戦時下の状況を振り返る。 ・ 学童疎開していた ・ 東京大空襲があった (2) 本時の学習課題を知る。 父親に対する筆者の思いを捉えよう。	5	○ 補助教材や戦争に関する資料を見て、前時に学習した戦時下の生活に関わる語句や事柄を確認させる。 ○ 既習の「大人になれなかった弟たちに……」で、「僕」や「母」、「ヒロユキ」が置かれていた状況を思い出させる。 ○ 本時は、父親に対する筆者に着目し、読み進めていくことを確認する。
追究する	2 筆者が父親をどのように見ていたのかが分かる描写を抜き出し、まとめる。 (1) 筆者の父親に対する思いが分かる表現に印を付ける。 ・ 威厳と愛情にあふれた ・ 非の打ちどころのない ・ 暴君であったが、反面照れ性 (2) 印を付けた描写をノートに書く。 (3) 描写から読み取れる筆者の父親に対する思いをノートにまとめる。		○ 作品の展開に従って、四つの時期に分けて描写を整理することを、確認してから聞かせる。 ○ 第1時でまとめた父親の行動や様子を振り返らせる。 ○ 印を付けられなかった生徒には個別に声をかけるようにする。 ○ 隣の生徒同士で、印を付けた部分を確認させる。 ○ ノートの上段に書くように指示する。 ○ できるだけ、自分の言葉でまとめるようにさせる。

追 究 す る ま と め る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 律儀で几帳面 ・ 子を気遣う優しい父親 ・ 言葉は少ないが強い愛情をもつ 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 上段に書いた描写と対応するように、下段に思いをまとめさせる。 ○ 机間指導で記入できていない生徒へ個別に助言する。
	3 筆者の父親に対する思いについて、共感できることと、共感できないことに分けて発表し合う。	30	<ul style="list-style-type: none"> ○ 評筆者の父親に対する思いについて、自分の言葉でまとめている。(ノート) ○ 4人のグループを作り、自分が書いたことを発表させる。 ○ 共感できることとできないことに分けて発表させる。 ○ 司会を決め、進行を任せる。 ○ 話し合ったことをグループの代表者が発表することを伝える。 ○ 代表者は発表の直前に決めることを伝え、どの生徒も自分が発表するという意識をもたせて、話し合いに参加させる。
	(1) 共感できることとできないことについて発表し合う。		<ul style="list-style-type: none"> ・ はだして表に飛び出すなんて想像できなかった。 ・ 声を立てて泣くぐらい、家族のことを心配していた。
	(2) グループで話し合ったことを、全体で交流する。	45	<ul style="list-style-type: none"> ○ 評筆者の父親への思いについて、自分の考えを積極的に発表しようとしている。(話し合いの様子) ○ グループで話し合ったことを、代表者に発表させる。
	4 振り返りをし、次時の内容を聞く。		
	(1) 本時の学習の振り返りをする。		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習を振り返る」(p.111)を読み、学習を振り返らせる。
	(2) 次時の学習課題、学習内容を知る。	50	<ul style="list-style-type: none"> ○ 次時は、「聞き上手になろう」を学ぶことを伝える。

(5) 本時の評価規準

- 筆者の父親に対する思いを、文中の表現を基に自分の言葉でまとめている。(ノート)
- 筆者の父親に対する思いを、自分の言葉で積極的に伝えようとしている。(話し合いの様子)

5 備 考

(1) 学級の実態

- 一人で取り組む活動に対しては落ち着いて行うことができるが、グループ学習で話し合う場面になると、私語が増えたり、話題がそれてしまったりすることがある。活動の目的が明確だと集中でき、全体的に落ち着いて取り組むことができる。

(2) 指導の力点

- 個人、4人のグループ、全体というように、活動によって学習形態を変え、一つ一つの活動に集中して取り組むことができるようにする。これらの活動を活発に行うためには、個人の考えをきちんとまとめておく必要があるため、全員がノートに記入できるように、机間指導して個別に助言するようにする。また、話し合いが円滑に進むように、それぞれの活動の目的を丁寧に伝えて板書することで、筆者の父親に対する思いを読み取ることができるようにする。

6 指導と評価